

参考資料2-① 貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るための学習支援や教育相談体制等の充実

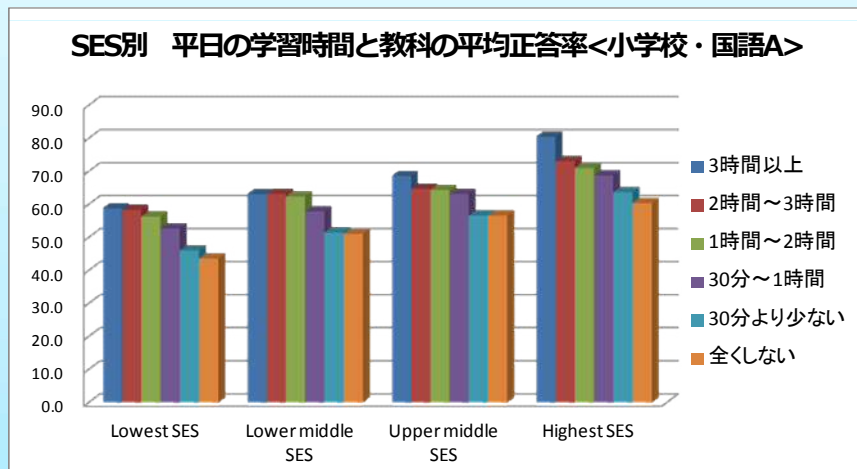
貧困により学力の未定着や非行、いじめなどの厳しい環境にある子どもたちへの支援を充実し、貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るため、国において、

- 1 学校が実施する少人数の習熟度別の学習や放課後等の補充学習、生活困窮家庭の子どもに対する学習支援等への支援の充実
- 2 放課後児童クラブ等の柔軟な運営を可能とするための要件の緩和や、利用者負担の軽減につながる財政支援措置
- 3 子どもの多様な教育課題への対応に専任するための教員の配置や、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置拡充、常勤化を含む待遇改善による専門性の高い人材の確保に向けた支援の充実

が必要です。

- 家庭の経済状況が子どもたちの学力や進学率などに影響し、このままでは貧困が世代を超えて連鎖することが危惧されます。
- 子どもたちが生まれ育った家庭の経済状況等に左右されることなく、安心して学び、夢と希望を持って育つ環境を作っていくことが必要です。

・家庭の社会経済的背景 (SES) と子どもの学力との間には強い相関があるが、学習時間は不利な環境を克服する手段の一つと考えられる

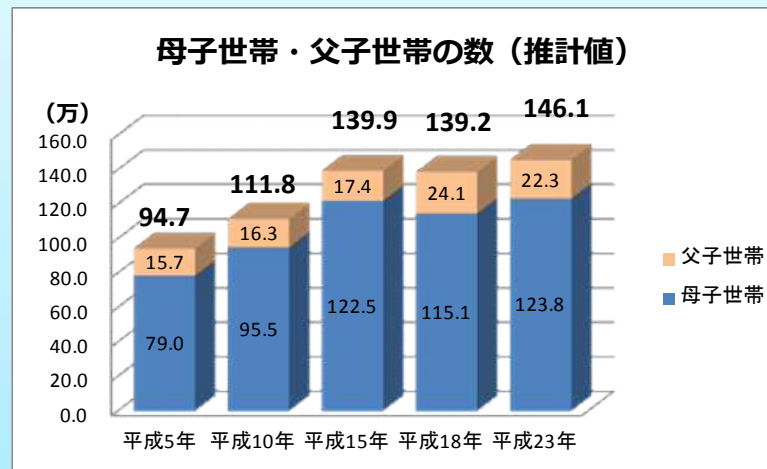


・家庭の社会経済的背景 (SES) : 保護者に対する調査結果から、家庭所得、父親学歴、母親学歴の三つの変数を合成した指標。当該指標を四等分し、Highest SES、Upper middle SES、Lower middle SES、Lowest SESに分割して分析

出典：平成25年度全国学力・学習状況調査（きめ細かい調査）の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究（国立大学法人お茶の水女子大学）

貧困等により学習の場や時間が十分に与えられていない子どもたちに対する放課後等の学習支援が重要

・母子世帯・父子世帯（ひとり親家庭）の数が増えている
・ひとり親家庭の貧困率は54.6%と子どもがいる現役世帯全体の貧困率の約4倍



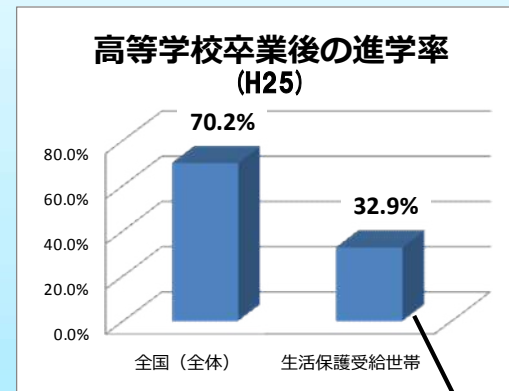
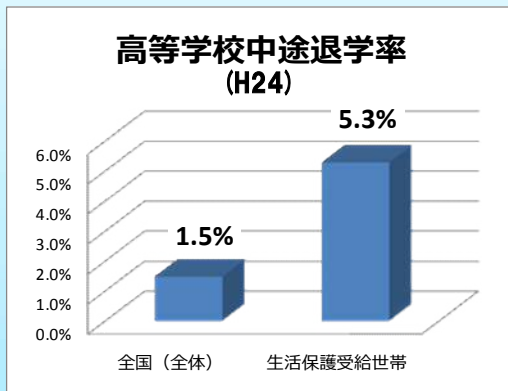
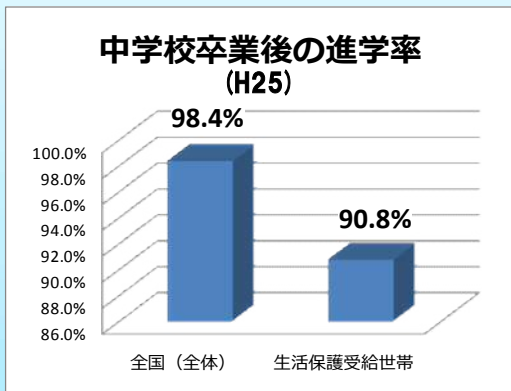
出典：全国母子世帯等調査

大人一人の子育て世帯の貧困率(H24)：54.6%
(子どもがいる現役世帯の貧困率(H24)：15.1%)

家庭の経済状況に関わらず、すべての子どもが利用できる放課後等の安全な居場所、学びの場づくりが必要

参考資料2-② 貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るための学習支援や教育相談体制等の充実

・ 貧困により困難な課題に直面している子どもたちは就学の継続や進学も難しい状況にある



出典：学校基本調査 高等学校等・大学等進学率
児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査

保護世帯に属する子供の高等学校等・大学等進学率（厚生労働省保護課）
保護世帯に属する子供の高等学校等中途退学率（厚生労働省保護課）

32.9%の内訳
・ 大学等 19.2%
・ 専修学校等 13.7%



子どもや家庭が抱える課題を解決・支援する体制の整備・充実が不可欠

- 1 学力面で課題を抱える子どもに対しては、少人数の習熟度別の学習や放課後等の補充学習、生活困窮家庭の子どもに対する学習支援等必要な学力を確実に身につけられる体制を整えることが必要です。
- 2 放課後児童クラブ等を、家庭の経済状況等にかかわらず、すべての子どもが利用できるよう、柔軟な運営を可能とするための要件の緩和や、利用者負担の軽減につながる財政支援措置が必要です。
- 3 多様な教育課題に専任するための教員やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを配置するための十分な財源の確保と、待遇改善による専門性の高い人材の確保に向けた支援の充実が必要です。